



本書に登場する主な地名



軍人の階級一覧表(昭和20年当時の基本的なもの)
いちらんびょう きほんてき

		旧陸軍 <small>きゅうりくぐん</small>	旧海軍 <small>きゅうかいぐん</small>
士 官 (将 校)	将官 <small>しょうかん</small>	大將 <small>たいしょう</small> 中將 <small>ちゅうしょう</small> 少將 <small>しょうしょう</small>	大將 <small>たいしょう</small> 中將 <small>ちゅうしょう</small> 少將 <small>しょうしょう</small>
	佐官 <small>さかん</small>	大佐 <small>たいさ</small> 中佐 <small>ちゅうさ</small> 少佐 <small>しょうさ</small>	大佐 <small>たいさ</small> 中佐 <small>ちゅうさ</small> 少佐 <small>しょうさ</small>
	尉官 <small>いかん</small>	大尉 <small>たいい</small> 中尉 <small>ちゅうい</small> 少尉 <small>しょうい</small>	大尉 <small>たいい</small> 中尉 <small>ちゅうい</small> 少尉 <small>しょうい</small>
准士官 <small>じゅんしかん</small>		准尉 <small>じゅんい</small>	兵曹長 <small>へいそうちやう</small>
下士官		曹長 <small>そうちやう</small> 軍曹 <small>ぐんそう</small> 伍長 <small>ごちやう</small>	上等兵曹 <small>じょうとうへいそう</small> 一等兵曹 <small>いちとうへいそう</small> 二等兵曹 <small>にとうへいそう</small>
兵		兵長 <small>へいぢやう</small> 上等兵 <small>じょうとうへい</small> 一等兵 <small>いちとうへい</small> 二等兵 <small>にとうへい</small>	水兵長 <small>みずへいぢやう</small> 上等水兵 <small>じょうとうみずへい</small> 一等水兵 <small>いちとうみずへい</small> 二等水兵 <small>にとうみずへい</small>

陸軍の編制（主なもの）

中西立太、田中正人著『図解 日本陸軍〔歩兵篇〕』（並木書房 1996年）を参考。

総 軍	関東軍、支那派遣軍、南方軍などのこと、総軍の司令官は通常大將が務める。
方面軍	総軍の下に属する組織。中支那方面軍、第一方面軍などがある。方面軍の司令官は、大將または中將が務める。
軍	戦闘における一軍事行動を担当した組織。通常は師団のほか、兵科が異なる複数の部隊から編制された。軍司令官は、通常中將が務める。
師 団	通常師団司令部、2個歩兵旅団を中心として、砲兵、通信隊などが下に編制された組織。師団長は通常中將が務める。（1万5,000人～2万5,000人）
旅団 （ 団 ）	同じ*兵科の2個連隊以上からなる組織。旅団長は、通常少將が務める。
連 隊	3個歩兵大隊を中心として、砲兵、通信隊などから組織される。歩兵連隊の場合の連隊長は通常大佐または中佐が務める。（3,500人～4,000人）
大 隊	3～4個歩兵中隊を中心として砲兵、通信隊などから構成。大隊長は通常少佐または大尉が務める。
中 隊	2個～4個小隊で構成。戦闘部隊の中核。中隊長は、通常大尉や中尉が務める。
小 隊	2個～4個分隊で構成。戦時には、入営した兵士が日常生活を送る内務班が小隊となった。小隊長は、通常少尉が務める。
分 隊	通常10人程で構成される最も小さい組織。分隊長は、通常軍曹や伍長が務める。

*兵科とは、歩兵科、騎兵科、砲兵科などの職務区分のこと。